

2021年度 第1回苦情処理委員会

日時 7月29日(木) 14:00~15:00

場所 ちどり保育園会議室

出席者 第三者委員(原田秀一)(井上准子)

園長(井上邦子)主任(寒川美穂)

《議題》

1) 今まで(4月~7月)の経過報告

※ 「苦情処理委員会」にかける事例はなし。

◆ 2021年度「園のしおり」で(苦情解決のしくみ)(第三者委員)(連絡先)(園の体制)等を明記し保護者に配布。会議室入り口にも掲示し、今年度の苦情処理委員について保護者に周知する。

① 新型コロナウイルスの対応

コロナ禍での保育運営も2年目となった。引き続きの感染防止策をとりながらではあるが、解明されつつある科学的なコロナの検証もふまえ、活動内容など工夫し対策をしていく。5月、3度目の緊急事態宣言が発令され予断を許さない状況である。地域の感染状況を把握し対応していく。(現在、福岡市も感染者急増)しかし、昨年は出来なかった行事や取り組みも新たな形で可能なことは何かを考えていく。

- ・保育の中での感染防止対策(時間・空間・人数・消毒・健康管理・検温など)
- ・来園者の対応 ・会議の時間短縮
- ・集まる行事の見直し⇒4月園説明会、7月公開保育は分散型。
6月くじら山登り遠足(春合宿)
7月平和夏まつりは子どもの祭りと夕方の保護者参加のバザーを分散して開催。
- ・新型コロナ感染状況⇒6.7月は福岡でも感染者が増え保護者の中に感染者が出る。職員が濃厚接触者になる等の事例があった。
保育園が休園となる事はなかった。
- ・職員のワクチン接種(希望者)は、ほぼ2回目も終了。

② 安全と衛生の対策・危機管理

◎ 緊急時(新型コロナ関連・災害 等)の連絡方法については保護者に周知。

今年度より sigfy(保護者専用)で情報発信をする。(安全確保・送迎等)

- ・感染症の対策と情報の提供。
⇒・5月中旬~6月中旬:嘔吐下痢・ノロウイルス等が流行した。
保健所とも連携し対応。
- ・6月中旬~7月上旬:乳児を中心にアデノウイルス・RSウイルス

パラインフルエンザ等の発熱が流行。

- ・熱中症予防（帽子・水分補給・活動時間の調整や休息・体調管理等）
- ・夏季はシラミ・とびひ・水いぼ・食中毒等、環境衛生面に気をつけていく。
蚊の対策⇒ 5月～「モスキートマグネット」を稼働。
- ・毎月の避難訓練では、火災だけでなく地震、水害も想定し実施。
今後、不審者対策についても実施予定。
- ・1999年の水害の歴史を職員、保護者とも共有し今後の防災対策に繋げる。
（避難訓練や園だより）
- ・事故の対応：子どものケガや事故についてはヒヤリハットも含め問題点を共有し、事故防止に努める。（定期的に会議の議題とし組織化する）

※ 別紙参照

③ 保育方針の理解

コロナ禍での行事のあり方

- ・保育の中で大切にしたい事を保護者と共有していく。
（送迎時・懇談会・公開保育等）
- ・3歳以上児の異年齢保育実践の積み上げをしていく。（6年目）
- ・法人の綱領を保護者と共有する。「子どもたちの健やかな成長を保障する平和で民主的な社会」の実現のためにも、今の情勢を知り考え、平和についての思いを語り合い、子どもたちのしあわせを願うすべての人たちと力を合わせていく。
（7・8月：平和を考える月間）⇒ コロナ禍。改めて「平和」について職員・保護者が考える機会とする。保育園として情報発信と交流できる取り組みを、父母の会で計画中。（折り鶴アート・平和のメッセージ・絵本の読み聞かせ）
- ・10月：わくわく広場（運動会）他

④ 保護者との連携

- ・長引くコロナ禍は、感染の怖さだけでなく、これまであたりまえだった繋がりを途切れさせ、孤立状態をつくってしまう。
一同に集えなくても「共に」の気持ちを失わないような取り組みを大切にしていける。
- ・活動や保育運動での父母の会との連携⇒分散型などで父母の会部会も再開。
- ・障がい児保育、育児支援、保護者の心のケア、虐待、異文化コミュニケーションの対応。（宗教食）

⑤ 個人情報保護について

(ニュース等の配布物・写真撮影・HP への掲載について配慮)

- ・個人情報に関わる配布物については、シュレッターにかけ処分するように対応をしている。
- ・個人情報に関わる書類、写真、SNS の管理 (職員に徹底)

⑥ 行政・専門機関との連携

- ・療育センターより訪問支援 (7/30) ・職員の療育機関の見学 (7/26・9/1)
- ・家庭での虐待等、支援の必要な家庭については、児童相談所と連携しながら把握、サポートしていく。

⑦ 地域との関係づくりと安全対策

- ・コロナ禍で地域の行事もなく繋がりがも (夏まつり・散歩活動等)
- ・ふれあいサロン (高齢者) は 7 月より再開。
- ・現在、送迎時の駐車場待ちの苦情などは、ほとんどない。
- ・子ども夏まつり (7/16) 夕方、子どもみこしが地域を回った。
事前にお知らせの手紙を配っていたため地域からの苦情はなし。
励ましのハガキが 1 通届いた。
⇒地域に見守られている有難さを実感。
地域の中の保育園として、どのようなつながりが持てるか今後の課題。

※ 苦情、要望等があった場合は苦情処理委員会で検討する。

※ 定期的に会議をひらく。 *緊急の場合は随時開催する。

※ 次回開催は 11 月予定。